FA コーチ通信⑨「期待とビジョンの共有 G-ACTION 2030」

今年も残すところ僅かとなりました。年度内においては来年 3 月までとなりますが、師走の時期は一年を振り返りながらも新たな気持ちを整理し、新しい年を迎える準備をされていると思います。
その中でこの年末年始に岐阜県を代表して ISS FC が第 47 回全日本少年サッカー選手権大会（26 日に開幕）、そして帝京大可児高校が第 102 回全国高校サッカー選手権大会（28 日開幕）にそれぞれ出場します。全国大会での岐阜県勢の活躍はスポーツの力として県民の日常での話題となり県民力を高めていくサッカーを盛り上げそして子供達に夢や希望を与える源となります。是非躍進されることを願いみんなで応援しましょう。

さて、みなさんにとってこの一年はどんな年だったでしょうか？岐阜県内におけるトピックスと言えば U-15 日本代表監督として平田礼次氏、U-20 代表 GK コーチとして高原寿康氏が就任されました。岐阜県出身者である 2 人の代表スタッフ就任は岐阜県内の指導者のみなさんにも大変刺激となり嬉しいニュースでした。日本を代表する指導者として岐阜県からも代表選手が輩出されるべく指導を期待したいところです。

岐阜県サッカー協会は今年のフットボールカンファレンスにて技術委員会から G-ACTION 2030 を発表されました。岐阜サッカーがどんな考えでどこを目指しているのかというビジョンや目標を示したものです。特に今年は「アグレッシブにボールを奪う」をテーマとしてトレセン活動などを行ってきました。もちろん攻撃面でもアグレッシブさは欠かせません。日常生活の中でもアグレッシブさを意識すると良いですね（※アグレッシブさというのは闇雲にプレーするということでなはく戦術的にプレーすること）。

G-ACTION 2030 は岐阜サッカーの合言葉でもあります。県内においてはまだまだ浸透度は低いですが G-ACTION2030 の要素を取り入れ選手育成に取り組んでいきたいですね。1 人の選手が育成される過程の中には様々な指導者との関わりがあってのことです。

「勝負は一瞬、育成は一生」です。

みなさん良いお年を！

FA コーチ　松永英機